

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	キャリア教育専門人材養成事業	担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始	担当課室	キャリア形成支援室	キャリア形成支援室長 浅野 浩美			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ-1-4 多様な職業能力開発の機会を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第15条の2第1項第3号、同条第2項	関係する計画、通知等	第9次職業能力開発基本計画 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 若者雇用戦略(平成24年6月12日合意)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	キャリア教育の充実を図る観点から、労働行政としてこれまで培ってきたキャリア・コンサルティングの専門性を活かし、キャリア教育の企画・運用を担う人材を養成する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	キャリア教育に関わる各地域の民間サポート機関(NPO等)のスタッフ、ジョブサポーター、教員等、キャリア教育やその支援に携わる者を対象とした、キャリア教育プログラムの企画・運営などの専門性を備えた人材養成のための講習を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算		22	16	14	27
		補正予算					
		繰越し等					
		計		22	16	14	27
	執行額		22	15			
執行率(%)		100	94				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	講習受講者アンケートで、講習で学んだ内容を「今後活かせる」と回答した者の割合:9割以上	成果実績	%		92	93	90
		達成度	%		102	103	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	講習受講者数	活動実績 (当初見込み)	人日		1,557 (940)	1,073 (1,000)	— (1,000)
単位当たりコスト	講習の実施 14.9 (千円/人日)	算出根拠	単位当たりコスト=キャリア教育専門人材養成事業費(23年度予算額)/講習受講者数(23年度実績)=15,982千円/1,073人日=14.9千円/人日				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	(目)職業能力開発支援事業委託費			○中学・高校のキャリア教育を担う人材向け講習の実施による増			
	講習の実施	6	11	○キャリア教育推進連携表彰の実施による増			
	講習準備・検討委員会	1	2				
	資料作成検討部会	0	1				
	体制整備費	6	12				
	本省経費	0	0.5				
	消費税	1	1				
計	14	28					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成23年1月の中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」において、キャリア・カウンセリングを行う専門人材の配置や職業能力の開発・向上の促進等を担う厚生労働省との連携・協力等が提言されたことから、国が実施すべき事業である。本事業は、国がキャリア教育のノウハウを有する民間団体と委託契約を結び、講習を実施するものである。事業の目的と事業成果が直接的につながるものであると認識している。また、講習受講者の満足度が高く、ニーズに合致した内容となっていると判断される。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の目的を達成するためには、事業の実施体制や講習の内容について、応募者の専門的知識やノウハウに基づく創意工夫による企画内容を評価することが相応しいことから、企画競争方式により調達を行っているところ。コスト削減に努めているものの、質の高い講習を出来るだけ全国各地で実施することを踏まえると妥当な水準である。また、本事業は講習の開催等に係る経費が大部分を占めており、必要経費に限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	講習受講者の満足度が高く、また、事業目標に対して事業内容が、直接的な効果を上げており、目標を超える実績を出していることから、有効な手段であると判断している。また、成果物である講習テキストを厚生労働省のホームページに掲載する等、キャリア教育の普及に活用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業実施状況について定期的に報告を求めるとともに、講習受講者に対して、講習の満足度等を問うアンケートを記入させることにより、講習の質の向上に努めることとしている。これらを通じて、より少ない予算で一層の効率的・効果的な実施を図ることとしており、今後とも事業の実施状況等を踏まえ必要に応じて見直しを行うもの。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効果的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	これまでと同様に効果的、効率的な運営に努めながら事業を実施する。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	864

厚生労働省
15百万円

事業主体として事業全体の企画立案、
進捗管理等



【企画競争・委託】

A. 株式会社インテリジェンス
15百万円

キャリア教育専門人
材養成講習テキスト
及びカリキュラムの開
発、講習の実施等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社インテリジェンス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	講師謝金、講師旅費等	9			
人件費	担当社員賃金	5			
管理費	通信費、光熱費等	0			
消費税	消費税	1			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社インテリジェンス	キャリア教育専門人材養成講習テキスト及びカリキュラムの開発、講習の実施等	15百万円	随意契約 (企画競争)	